

## ポイント



- ① ワークショップや試験栽培を通じて、町内事業者が新規事業展開に向けた知見を獲得
- ② 植樹式・プレスリリースを通じて、町×町内事業者による取組を町内外に周知
- ③ 東北地方の同種事業実績を有する企業への誘致活動により、事業進出を検討する企業を発掘

## &lt;令和5年度の取組成果&gt;

- 令和4年度から継続する新産業創業に向けた勉強会を実施し、未利用地の新たな活用方策としてブルーベリー農園事業による産業・観光の創出を町の事業として継続検討していく方針を決定。
- 次年度以降の未利用地活用検討にあたり、町内外関係者の連携体制を構築。

## &lt;今年度（令和6年度）の取組成果&gt;

- ワークショップの実施と試験栽培の開始により、町内事業者がブルーベリー農園事業に関する知見を獲得。
- 町内事業者とブルーベリー農園事業者との連携体制を構築。
- 試験栽培の植樹式・プレスリリースを通じて、町×町内事業者による新産業創出と未利用地活用に向けた取組を町内外に周知。
- 大規模施設園芸事業の企業誘致活動・施設事例視察を通じて、町が企業誘致・事業支援における知見を獲得。
- 大規模施設園芸事業の事業進出・連携の可能性のある企業2社を発掘。

## &lt;今後の方向性&gt;

- 町内事業者によるブルーベリー農園の事業化に向けた試験栽培の継続と経営計画の策定。
- 誘致活動により発掘した事業者と、大規模施設園芸事業進出の実現に向けた協議の継続。

所在地：岩手県大槌町

主な用途：ブルーベリー農園、大規模施設園芸等の生産施設等

## ■ 位置図



## 1. 目的と背景

町中心部の未利用地活用にあたり、新たな産業を誘致することで、若年層にとって魅力ある就労や活動の場を創出

- ・ 町中心部の町方地区や安渡産業集積地では未利用地が数多く残る。住宅建設や企業進出の活動が減少する中、移住定住促進や関係人口増加の重要な要素である若年層にとって魅力ある就労や活動の場の創出が急務。
- ・ 昨年度に町内事業者の関心が得られたブルーベリー農園事業の本格的な事業化に向けて、WSによる知見獲得と試験栽培による栽培可否の検証を行う。
- ・ 町では一次産業資源（特に農作物）を活用した事業創出に意欲的であることから、安渡産業集積地における大規模施設園芸設置を前提とした知見集約を行う。



地区航空写真(2022.4.28 撮)

対象地区周辺写真  
(町方地区)対象地区周辺写真  
(安渡産業集積地)

## 2. 取組にあたっての課題

町内におけるブルーベリー農園事業と大規模施設園芸事業の展開・実現に向けては以下の課題がある。

- ・ 町内事業者の**ブルーベリー栽培技術の知見獲得**と、ブルーベリー農園開園に向けた**気候等の環境適性の確認**が必要
- ・ 大規模施設園芸事業の誘致に向けた**市内の知見集約**と**進出企業の発掘**が必要

## 3. 今年度の取組項目

昨年度事業で方針を決定したブルーベリー農園事業による産業・観光交流の創出及び地域との親和性の高い一次産業資源を活用する大規模施設園芸事業による産業の創出に向けた取組を行う。

### I ブルーベリー農園事業の知見獲得、試験栽培

ワークショップの実施による町内事業者の事業化に向けた知見獲得と、試験栽培の実施による気候等の環境適性の確認

### II 大規模施設園芸事業誘致のための知見集約、誘致活動

- ・ 大規模施設園芸事業誘致のための基礎調査や誘致 PR 資料の作成と企業誘致活動の実施

### III 未利用地利活用に向けた方針検討

- ・ 次年度以降の事業計画案（アクションプラン案）の策定

## 4. 取組経過や主な調整プロセス

### 6～10月 ブルーベリー農園事業者を講師に招いたワークショップの実施 大規模施設園芸事業の事例視察の実施と PR 資料の作成

- ▶ 昨年度より連携を模索していたベリーベリーヤミーから講師を招聘し、ブルーベリー市場のトレンドや栽培方法等の知見を獲得。
- ▶ 大規模施設園芸事業の企業誘致に向けて基礎調査と事例視察を行い、知見を集約。誘致活動で用いる PR 資料を作成。



ポイント①

ワークショップや試験栽培を通じて、町内事業者が新規事業展開に向けた知見を獲得

### 11～1月 試験栽培の開始とそれに伴う植樹式の開催・プレスリリースの発信 大規模施設園芸事業の企業誘致活動の実施

- ▶ 町内におけるブルーベリー農園の気候等の環境適性を確認するため、立地・品種を複数用意した試験栽培を開始。  
※p1-4 図1～4 参照
- ▶ 大槌復光社や町長、こども園の園児らが参加する植樹式を開催し、プレスリリースを発信することで、町内外に広く事業を周知。  
東北地方で大規模施設園芸事業を行う企業へ誘致 PR 資料の送付・電話によるアプローチを行い、WEB や対面による面談へつなげた。 ※p1-4 図5～7 参照



ワークショップの様子

ポイント②

植樹式・プレスリリースを通じて、町×町内事業者による取組を町内外に周知



### 2～3月 ワorkshopと試験栽培、大規模施設園芸事業の誘致活動結果を基に、事業化につながる次年度以降のアクションプラン案を策定

- ▶ 事業化につながる次年度以降の取組について、3 年計画アクションプラン案を策定。
- ▶ ブルーベリー農園事業は大槌復光社による事業化に向けた継続検討を決定。
- ▶ 大規模施設園芸事業は誘致活動の結果、事業進出・連携に意欲を示した企業との継続協議を決定。

ポイント③

東北地方の同種事業実績を有する企業への誘致活動により、事業進出を検討する企業を発掘

■ 町内事業者によるブルーベリー農園事業の事業化に向けたワークショップの実施体制

大槌町産業振興課が主体となり、町内事業者を対象に(株)船井総合研究所の支援のもと実施

町内事業者でブルーベリー事業の事業化を検討する大槌復光社協同組合の知見獲得を目的に、大槌町産業振興課が主体となり、(株)船井総合研究所の支援のもとワークショップを実施。

実施主体：

- ・ 大槌町産業振興課（全体とりまとめ）

民間支援：

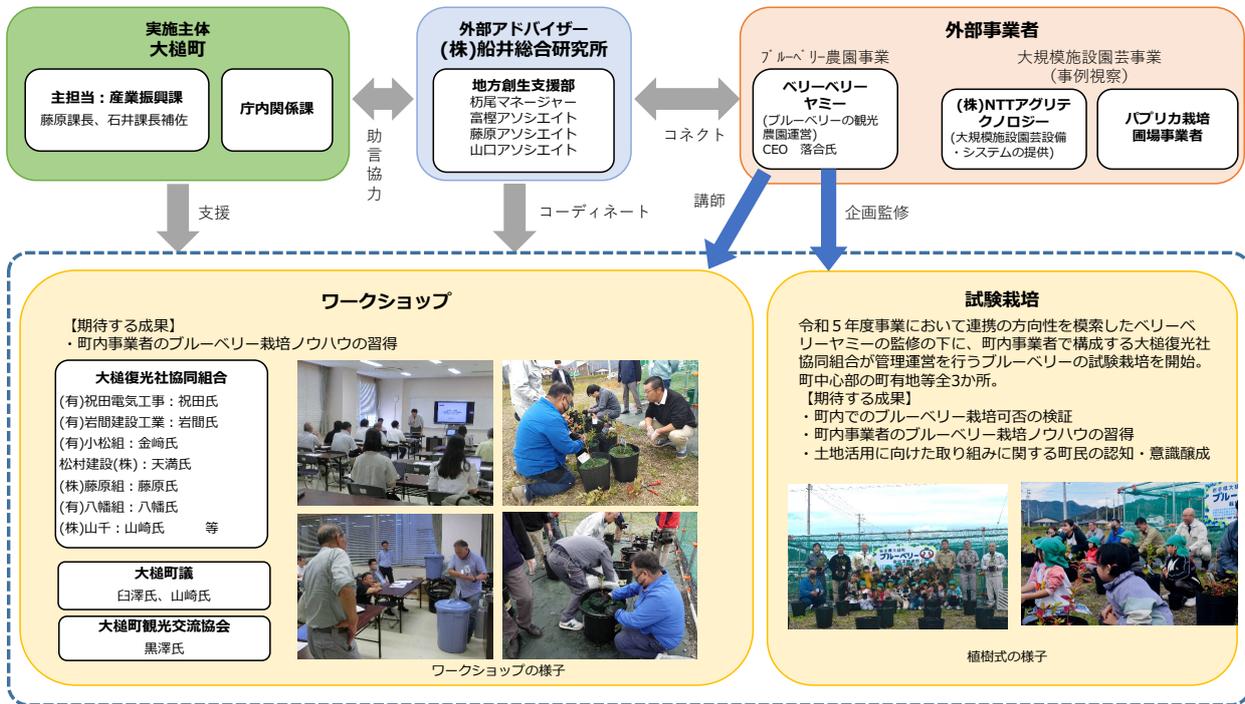
- ・ (株)船井総合研究所（企画、運営、関係者調整、資料作成等）

連携主体：

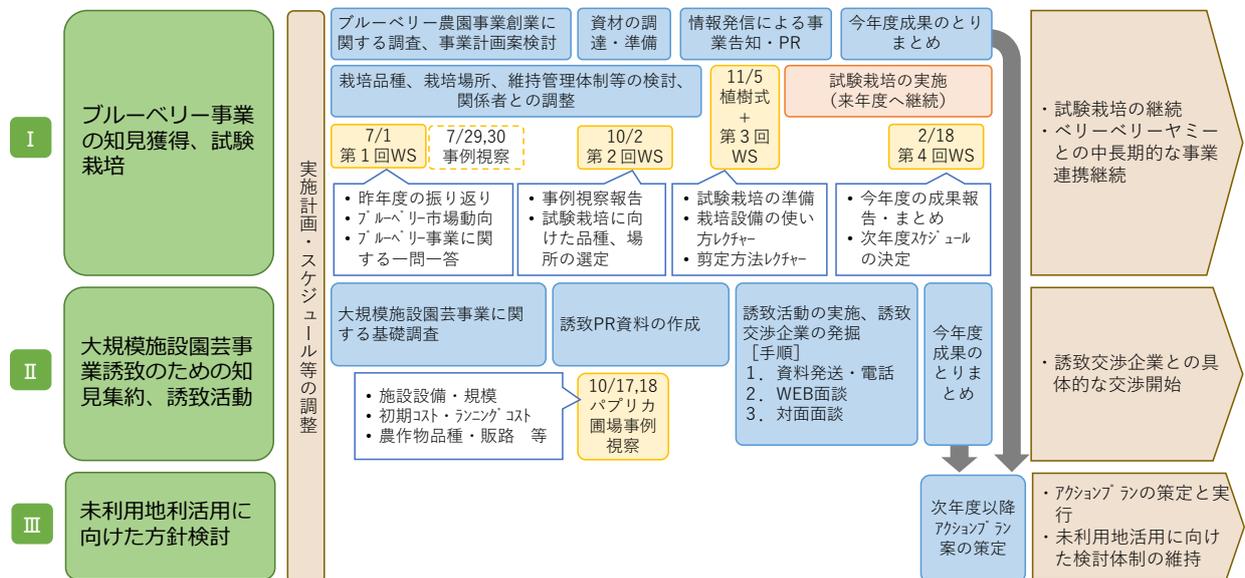
- ・ ベリーベリーヤミー（ワークショップ講師、試験栽培の企画監修）

参加者：

- ・ 大槌復光社協同組合（ブルーベリー農園の事業化を検討中）



■ 取組工程



1

## ■ 取組成果や重要な検討資料等

### ○ ブルーベリー農園事業



図1 ブルーベリー農園植樹式の様子



図2 剪定方法のレクチャー



図3 試験栽培場所

品種名	系統
オニール	サザンハイブッシュ
クーパー	サザンハイブッシュ
レガシー	ノーザンハイブッシュ
ブリジッタ	ノーザンハイブッシュ
ブライトウェル	ラビットアイ
ティフブルー	ラビットアイ

図4 試験栽培品種

2

3

4

5

### ○ 大規模施設園芸事業

5. 新たな誘致産業としての大規模施設園芸

- 本町では、日本の新たな次産業(創)産業。先進地、大規模施設園芸の産業創出を支援する。
- 実際の誘致には、これまでの大規模施設園芸の成功事例を参考に、事業創出の支援を行います。

大規模施設園芸企業誘致

大規模施設園芸 誘致

年間の通じた仕事を創出

6. 用地紹介 ～町方地区～

町方地区特徴

用地A

用地B

用地C

用地D

用地E

8. 大規模町に進出いただく3つの約束

約束1. 事業者負担を減らすための各種ご支援

約束2. 町内での円滑な活動促進に向けた調整

約束3. 本町での独自ブランド確立のご支援

図5 大規模施設園芸企業誘致 PR 資料 (抜粋)

No.	都道府県	事業者	圃場面積
1	青森県	A社	—
2	岩手県	B社	1.5ha
3	岩手県	C社	—
4	宮城県	D社	1ha
5	宮城県	E社	1.8ha
6	宮城県	F社	4.4ha
7	宮城県	G社	0.5ha
8	宮城県	H社	1ha
9	宮城県	I社	—
10	宮城県	J社	1.1ha、1.3ha
11	宮城県	K社	6ha (2圃場合計)
12	宮城県	L社	1.7ha
13	宮城県	M社	3ha
14	宮城県	N社	5ha
15	宮城県	O社	2ha
16	宮城県	P社	1ha
17	宮城県	Q社	1.4ha
18	山形県	R社	2.2ha
19	山形県	S社	5,200坪のハウス
20	福島県	T社	10ha
21	福島県	U社	1.7ha
22	福島県	V社	1.5ha
23	福島県	W社	6ha
24	福島県	X社	4.1ha

No.	都道府県	事業者	アンケート	ヒアリング	今後の訪問
2	岩手県	B社	○	○ 7/2	—
5	宮城県	E社	○	○ 12/23	—
6	宮城県	F社	○	○ 12/17	○
11	宮城県	K社	○	○ 12/5	×
12	宮城県	L社	○	○ 12/10	○
17	宮城県	Q社	○	○ 12/17	—
21	福島県	U社	○	○ 12/13	—
23	福島県	W社	○	○ 12/24	—

図7 WEB面談に応じた企業 (上表)

図6 東北地方大規模施設園芸事業企業 (誘致活動先24社) (左表)

6

## 5. 今年度の取組成果

### 成果1 ワークショップの実施と試験栽培の開始により町内事業者がブルーベリー農園事業の知見を獲得

- ▶ 大槌復光社協同組合に属する町内事業者が、ブルーベリー農園事業の事業化に向けて市場動向や栽培方法等の知見を座学・実技の両面から学ぶことができた。

### 成果2 町内事業者とブルーベリー農園事業者との連携体制を構築

- ▶ 昨年度から連携を模索していたブルーベリー農園事業者と町内事業者との連携体制が構築でき、町内事業者の事業化に向けた技術的な支援者を確保できた。

### 成果3 町×町内事業者による新産業創出と未利用地活用に向けた取組を町内外に周知

- ▶ テレビや新聞、WEB等の各種メディアを通じて町内外に本事業の取組を周知した。

### 成果4 大規模施設園芸事業に関して町が企業誘致・事業支援における知見を獲得

- ▶ 大規模施設園芸事業の市場動向や誘致に向けた行政支援の方向性等の知見を獲得した。

### 成果5 大規模施設園芸事業の事業進出・連携の可能性のある企業2社を発掘

- ▶ 同種事業の拡大を検討する企業や新規就農者向け教育プログラムの運営企業との、大槌町への事業進出や町との連携に向けた、継続協議につながった。

## 6. 今後の方向性

### 町内事業者によるブルーベリー農園の事業化に向けた試験栽培の継続と経営計画の策定

- ・ 大槌復光社協同組合に属する町内事業者によるブルーベリー農園の事業化と令和9年度の収益化に向け、試験栽培の継続と経営計画の策定を行う。

### 誘致活動により発掘した事業者と、大規模施設園芸事業進出の実現に向けた協議の継続

- ・ 大槌町内への同種事業の拡大を検討する企業との協議の継続。
- ・ 新規就農者向け教育プログラムの運営企業との協議の継続、プログラム卒業生へのアプローチ。

### 中長期スケジュール・フロー図等

	ブルーベリー農園事業	大規模施設園芸事業
令和7年度	・ 観光ブルーベリー農園経営計画策定と試験栽培の継続、投資の可否の決定と投資準備	・ 大規模施設園芸誘致企業向けの3方向性施策の展開 方向性①大規模施設園芸事業者による事業拡大 方向性②新規就農者による事業進出 方向性③新規事業開拓を図る事業者による事業進出
令和8年度	・ 観光ブルーベリー農園事業公共パイロット農園の完了と民間本格参入	・ 大規模施設園芸誘致事業工場設置計画に基づく補助金申請、立地確定と協定の締結等
令和9年度	・ 観光ブルーベリー農園事業の民間による自走開始	・ 大規模施設園芸施設の着工

## 7. 取組主体・関係者の声

### これまでの状況や今回の取り組みにおける工夫や苦勞など

- ・ 大槌町の支援が始まり、早4年となりました。大槌町の土地利用の方向性がブルーベリー・大規模施設園芸と具体的に定まり、活性化の兆しが見えたと感じています。（民間支援：(株)船井総合研究所）

大槌町 産業振興課



藤原英志  
課長

石井満  
課長補佐

### ハンズオン支援事業で今回取り組んだ感想など

- ・ 本事業につきましてご助力いただきまして感謝申し上げます。昨年度から引き続き行っているワークショップから大規模施設園芸設置事業へのご意見、その他事業全体を見通したご意見、アドバイスをいただいたおかげで、来年度の動き方につきまして定まってきた段階でございます。特に本年度は事業に取り組む主体の候補が具体的に挙がり、事業の自走の兆しが見えてまいりました。（大槌町産業振興課 石井）